

## 事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和5年4月20日

討議年月日：令和5年4月14日

事業所名 長久手市児童発達支援センターこぐまっこ

アンケート期間：令和5年2月15日～令和5年3月10日

配布数 24 回収数 20 回収率 83.3%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	無回答	ご意見	対応
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	19	1	0	0			
	②	職員の配置数は適切であるか	16	3	1	0		・法律上は適切。落ち着いた空気を作るためにはもう1人いたほうがよいクラスもある。 ・基準は満たしているかもしれないが、子どもの状態に合っていないと感じることがある。	クラスの状況に応じて、必要な時間帯には、フリーの職員を配置していきたいと考えています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	18	2	0	0		・園庭への出入りにもスロープがあるとよい。	意見をありがとうございます。改善できるかを検討していきます。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	14	3	2	1			
	⑤	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	19	0	0	0	1		職員の皆さんの意向等を聞きながら、業務の改善につなげていきます。
	⑥	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	18	0	0	1	1		R3年度実施の結果、改善内容をHPに公表しています。職員の皆様、一度ご確認下さい。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	14	1	1	4			令和5年3月に実施しました。結果が届きましたら、職員間で共有し、業務改善につなげていきます。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	19	1	0	0			令和5年度も外部の講師を招き研修会を行います。事業所内研修会も定期的実施予定です。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	20	0	0	0			利用開始時には、アセスメントシートを使用しアセスメントを行っています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	9	6	0	5			アセスメントシートを使用していますが、改良の必要性があります。令和5年度、検討を重ねていく予定です。
	⑪	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	16	0	0	4			
	⑫	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	19	1	0	0		・各クラスの担任同士連携した支援が不足している。	全体会議にて各クラス、個々のお子さんの状況についても共有し、どのお子さんの支援もスムーズに行えるようにしていきます。
	⑬	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9	7	1	3		・話し合う時間が持てないと思う。	クラス会議、日々の打合せを行い、十分な話し合いの上で活動プログラムの立案が行えるようにしていきます。
	⑭	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	18	2	0	0			
	⑮	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	20	0	0	0			
	⑯	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	20	0	0	0			
	⑰	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	12	6	0	1	1	・できる日はしている。	毎日の振り返りが、その日のうちにできるよう時間の確保に努めます。
	⑱	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	18	2	0	0			
関係機関や保護者との連携	⑲	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	19	0	0	1			
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	16	2	0	2			サービス担当者会議には、児発管が参画しています。担当者会議の内容を周知できるように努めます。
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	16	1	1	2			こぐまっこの利用につながる1～2歳児のお子さんは、健診後の教室を利用しているケースが多く、その教室にはこどもの発達相談室の保育士が参加しています。また、入所判定委員会にて連携を図っています。今後も必要に応じて連携を取っていきます。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	14	2	0	4		・自身の状況把握不足。	医ケア児のお子さんのご利用開始時には、担当者会議が開かれ、訪問看護師・相談支援専門員・地区担当保健師などで情報の共有の場を設けています。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	無回答	ご意見	対応
関係機関や保護者との連携	㉓	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	18	0	0	2			主治医には意見書をいただいています。協力医療機関の先生には、医ケア児の病状・必要なケアについて意見をもらったり、知ってもらったりしています。
	㉔	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	20	0	0	0			引き続き、引継ぎカードの作成、サポートブック作りの推奨、幼稚園・保育園への訪問、教育総務課との情報交換等を行っています。
	㉕	小学校や特別支援学校（小学部）との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	17	1	0	2		・情報提供会はありません。	令和5年度も就学児向けの情報提供の会を行う予定です。教育総務課との情報の交換も行っていきます。
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	18	1	1	0		・研修内容や助言を把握していない。	6市1町交流会にて情報の交換を行っています。また、6市1町交流会には愛知県医療療育支援センターの先生も出席されており、助言を受けています。これらの情報や助言を療育につなげるようにしていきます。
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	18	2	0	0			歌の宅急便、児童館へのおでかけ、年長児の児童館の利用手順の講習のための訪問、保育園の園庭交流、保育園の植樹会に参加しました。今後も交流を図っていきます。
	㉘	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	18	1	0	1			自立支援協議会に児発管が参加しています。
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	20	0	0	0			
	㉚	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	17	1	0	2			保護者向けミニ講座を6回、実施しました。令和5年度も実施予定です。
保護者への説明責任等	㉛	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	20	0	0	0			
	㉜	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	19	0	0	1			
	㉝	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	20	0	0	0			
	㉞	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	20	0	0	0			保護者交流会、クラス懇談会を実施しました。
	㉟	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	20	0	0	0			センター内で対応できない相談には、こども家庭課、基幹相談の相談員さんへつないでいます。
	㊱	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	20	0	0	0			年間行事予定、月のたより、クラスだより（クラスの予定表）、HPのこぐまこ通信などで情報の提供を行っています。引き続き発信していきます。
	㊲	個人情報の取扱いに十分注意しているか	20	0	0	0			引き続き、個人情報マニュアルに基づき、取り扱いには十分に注意していきます。
	㊳	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	19	1	0	0			
	㊴	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	13	4	1	2			希望の会（障害児の親の会）のクリスマス会の招待を受けました。希望の会の方にミニ講座に参加いただき、保護者との交流を持つことができ、保護者から好評を得ています。今後さらに交流を広げていきたいと考えています。
	非常時等の対応	㊵	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	19	1	0	0		
㊶		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	20	0	0	0		・更に様々な想定での訓練を行っていきたい。	様々な想定で実施したいと考えています。
㊷		事前に、予防接種やてんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	20	0	0	0		・確認はできているが、予防接種の記録があるといい。	令和5年度、個票の様式を修正し、予防接種の状況が把握できるようにします。
㊸		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	20	0	0	0			食物アレルギーのあるお子さんは、必ず医師の診断書、指示書を提出してもらっています。状況の変化がないか留意が必要です。
㊹		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	19	1	0	0			ヒヤリハット事例集は作成しています。特に注意喚起の必要なものは朝礼時に共有しています。
㊺		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	20	0	0	0			
㊻		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	15	3	1	1		・説明や文書はある、該当児がないので、計画記載はない。 ・活動に参加しづらい子供への体をおさえるなどの行動に対し、職員間での対策、活動の工夫があるとよい。	お子さんへの対応の仕方について職員間での共通の理解が必要です。今後、そういった機会を設けていきます。